

宇都宮さつきロータリークラブの特徴

会員の職業による奉仕の実践



会員同士の相互理解と
好意と友情を育む

いろいろな職業の会員が相互信頼に基づいて家族的なつながりで行動しています。自身の職業を通して奉仕活動を実践することで、会員同士、そして、社会に

対して貢献しています。会員は、自身の職業を知ってもらうために、週1回の例会において職業卓話をする機会があります。また、栃木県内には1750名以上のロータリアンが在籍し、クラブだけでなく、地区での活動に積極的に参加することで、好意と友情を深める機会があります。活動の幅は国内だけにとどまらず海外のクラブや地区との交流や活動も積極的に行っております。

多様な会員構成



常にフラットな
会員関係を築きます。

会員には、大手企業の社長から、中小企業の社長、ベンチャー企業の社長、公務員、会社社員、主婦の方など他クラブにない多様な会員構成になっています。会費も、職業によってそれぞれ異なる体系とすることで、広く会員を集っています。

地域でリーダーシップを発揮できる方は皆会員候補です。宇都宮さつきロータリークラブでは、主役は常に会員自身であって、会長・幹事をはじめ理事のメンバーは、会員の活動をサポートする立場での運営を方針としております。

クラブ運営方針

Management policy

1. 新しいクラブとして、常に現状に甘んじることなくチャレンジしていく団体
2. 外部に対してオープンである団体
3. 会員主導、委員会主導の団体 会長、幹事、役員は、会員の活動を支える
4. 会員間の議論が合意に達しない場合、会のルールを策定し、次回以降ルールに従った解決を図る
5. 会長は、国際ロータリーの方針を遵守し、国際ロータリー第2550地区方針を遵守し、当会のクラブ方針を決定する
6. クラブの方針は、適宜見直す
7. クラブの目標は、クラブセントラルに登録して、進捗を管理する

夜間例会

参加しやすいように、
主に夜間に例会を開催します

当クラブでは、会員が参加しやすいように夜間例会(19:00~20:00)を基本として1時間で終了するプログラムになっています。例会では食事を用意し、会員同士の交流と理解を深める場にもなっております。また、クラブ運営の基幹となる理事会は月に1度、第1例会の終了後に開催しております。



主な例会会場



すまいるプラザ

〒321-0974
宇都宮市竹林町1063 -3



コンセーレ

〒320-0066
栃木県宇都宮市駒生1丁目1-6

会員紹介

宇都宮さつきロータリークラブの会員についてご覧いただけます。入会についてのご相談や会員への直接のご連絡も可能です。

